

# ナカ工業株式会社、降下型避難機器「UDエスケープ」を開発

## 電気不要でスムーズに下階へ移動可能に

ナカ工業株式会社（本社・東京都台東区）は、床埋設式降下型避難機器「UDエスケープ」を開発した。この避難器具は、災害時に誰でも簡単で安全、スピーディーにバルコニーや屋外のテラスから避難できるとしてテレビの経済番組でも紹介され同番組の2015年年間大賞を受賞した。

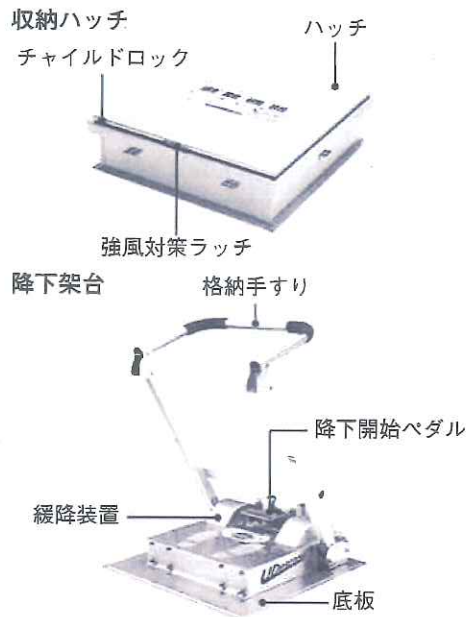
ナカ工業株式会社は施設の手摺りなどの開発に実績を持つメーカー。樹脂被覆製品の手摺りは、金属製にはない、手に暖かみを感じさせ転倒などの危険から身を守ることに効果があるとして公共施設や集合住宅、商業ビルなどで評判を得ている。業界初として開発した抗ウイルス手摺りは医療施設で数多く採用されている。

### 耐荷重200kgをクリア

UDエスケープは、人の重さと支柱ポスト内部のカウンターウエイトの動きだけで動作する。電気を使わないことから停電時にも使用できる。耐荷重は200kgをクリアしており、乳幼児などを抱えての避難も可能。操作は、降下開始ペダルを踏むだけで自動的に減速装置によりゆっくり降下し、人が降りると降下よりも早い速度で機器が上昇する。2.75m～6mの高さまで対応して、入園前の小児でも自立さえできれば降下することができる。

本年2月14日に、UDエスケープは日本消防検定協会の特定機器評価を取得し、避難器具としての設置が可能と

### UDエスケープの構成



なった（注）。

ナカ工業株式会社は、3月、東京ビッグサイトでの建築・建材展2017（第23回）、6月、大阪インテックスでのKENTEN（建展）2017にこのUDエスケープを出展し、「来場者の反応も上々であった」と手応えを感じている。今後は、マンションへの設置はもちろん、幼稚園や保育園、高齢者や障がい者への医療・福祉施設など、様々な施設での設置を目指す。2020年の東京オリンピックパラリンピックの関連施設での採用も目標のひとつとする。

（注）避難器具の代替設置においては、所轄消防署の同意が必要。